



学会ニュース

No.8

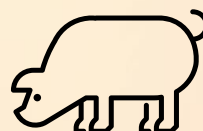
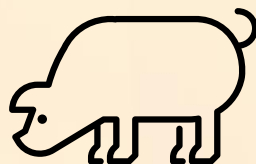
～前期講演会～

はじめに

2021年5月26日、前期講演会が行われました。講師は、ラーメン店「ぶたのほし」を経営されている、高田景敏(あきとし)様です。今回は新型コロナウイルス感染対策のため、対面とオンラインのハイブリッド形式によって開催されました。1回生は各教室にて、オンラインで講演を聞く形となりました。

当日プログラム

- ・ 13 : 00~13 : 10 ディスカッション
- ・ 13 : 10~14 : 05 高田様単独講演
- ・ 14 : 10~14 : 20 学生との対談
- ・ 14 : 20~14 : 30 受講者に対する言葉



講師：高田 景敏 (たかだ あきとし)様

テーマ：可能性への挑戦

プロフィール：

1992年 甲南大学法学部卒業。

大学卒業後、アパレル業界での勤務、会社経営などを経て40歳でラーメンの世界へ。

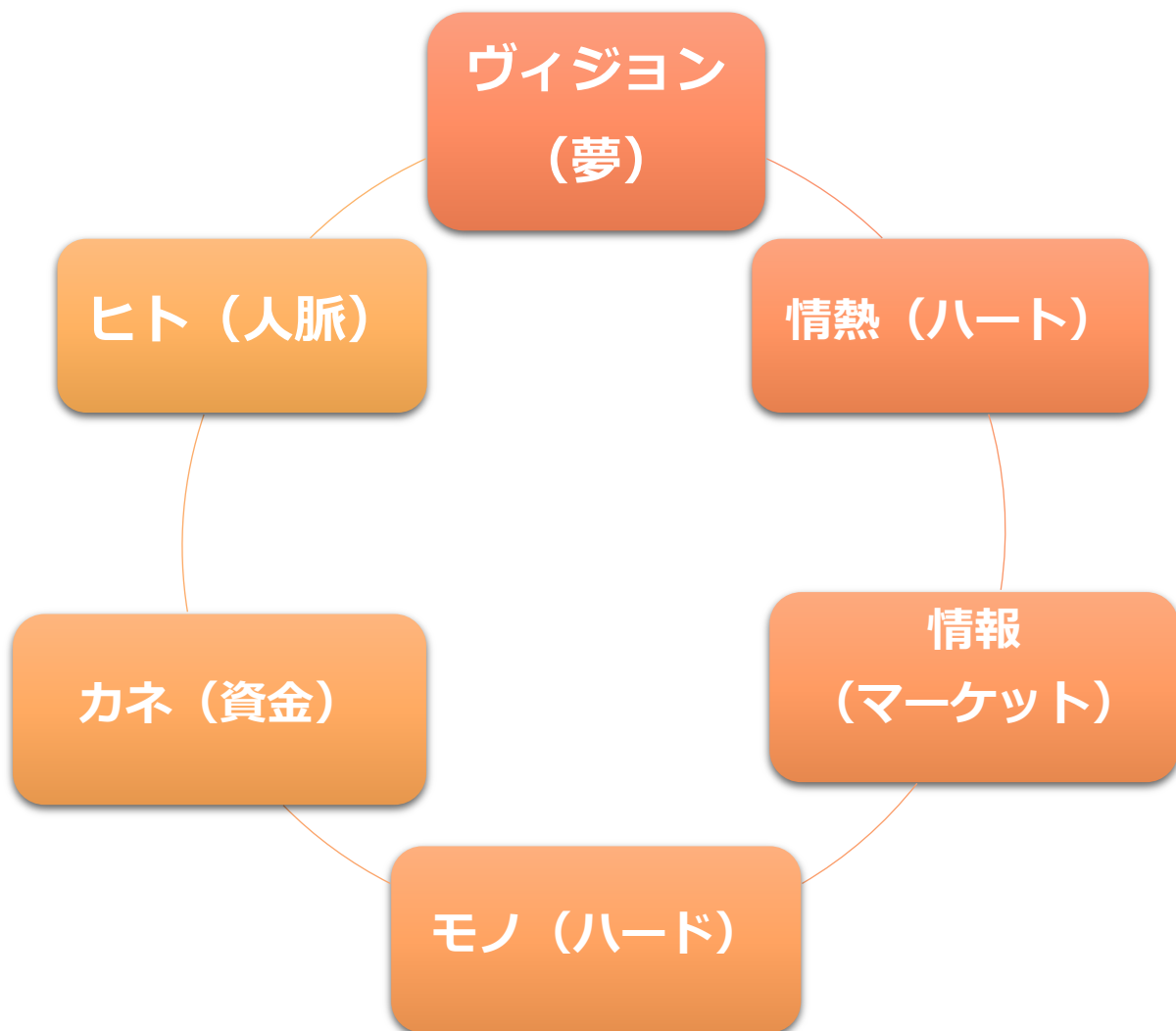
2018年より、兵庫県尼崎市でラーメン店「ぶたのほし」を経営。



ディスカッション

テーマ：

「ラーメン店の経営に必要な資源です。優先順位をつけてください。」



高田様は**ビジョン(夢)**と**情熱(ハート)**を大事にしているそうです。

講演内容

結論として、人生でもう一度やり直すとしてもラーメン屋になるとおっしゃっていました。

カップラーメン制作秘話や、大学時代でのエピソード、そしてラーメン業界で生きていくことを決意し現在に至るまでのエピソードなどを教えてくださいました。また、大学生へ向けたメッセージもいただきました。

高田様は人気ラーメン店の店長になった後、とある老夫婦に出会ったことをきっかけに、一杯のラーメンで人を感動させたい、自分でラーメン店をしたい、生涯の仕事にしたいと考えるようになったそうです。



感想



～実際に高田さんと対談をしてみても～

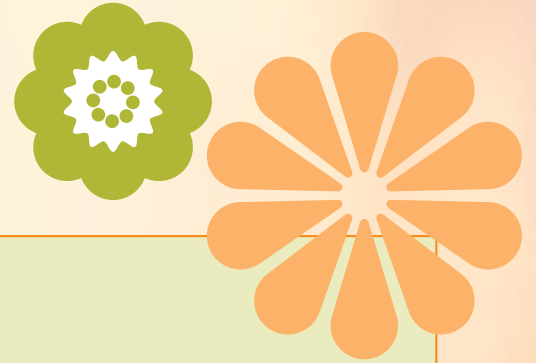
今回の対談では、高校と大学で変化したことなどを質問しました。

高校と大学で変化したことは、「環境と評価方法」だとおっしゃっていました。確かに、高校では、横並びで周りと比較して評価され、指示されてから動くという環境でした。しかし、大学では、自己責任で動くという環境になりました。私は、この自己責任で動くということは、社会人になってから活かすことができると考えているので、大学生の間に学んでいきたいと思います。また、大学生のうちに「自分を持つ」ということが重要だとおっしゃっていたので、大学生のうちに自分というものを見つけたいと思います。そのために、授業などを通じて、私の興味のあることについて学びを深めていきたいと思います。また、様々な業界について調べ、自分が何をしたいのか、自分には何が向いているのかについて熟考したいと思います。

(M.Y)



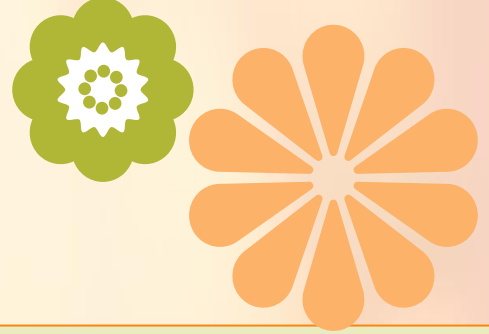
感想



実際に高田様の講演を聞いて、高田様からのメッセージにあった、大学卒業後の進路について考える時間を取り、自分自身を見つめ直すことが大切であるということこれから実践したいと思いました。

高田様は多くのことを経験をした上で、最終的にはラーメン店を経営することになりますが、私自身、これからしてみたい仕事が二転三転と変わるとしても、その都度一生懸命に取り組み、自信を持ってこの仕事が好きだと言えるような人生を送りたいと考えました。
(U.A)





編集後記

本年度の前期講演会には、本学法学部卒業の高田景敏様にお越しいただきました。この度は、講師を引き受けていただき、ありがとうございました。今年度もコロナ禍で、1年生の皆さんはご不安に思うことも多くあると思います。その中で、今回の講演では、今後の学生生活において、どのようにするべきなのか、また、自身の可能性を広げるには、学生時代にどのようなことを取組むべきなのかをご講演していただきました。

この場をお借りして高田様にお礼申し上げます。

今回の講演会を通じて、今後の目標などを学生の皆さんが考え、夢へと向けて走り出してくれることを願っています。最後に、学会ニュースを最後までお読みくださり、ありがとうございました。

宇野綾華

